

## 選択教科学習指導案（国語科基礎・基本コース）

日 時 平成18年10月30日（月）  
 学 級 2年（15名）3年（5名）計20名  
 場 所 1年A組教室  
 指導者 三角 尚子

### 1. 教材名

「話すこと・聞くこと」話し合って考えよう グループディスカッション

### 2. 教材について「基礎・基本型」

コミュニケーション能力の低下が叫ばれて久しい今、「話すこと・聞くこと」がますます重視されている。しかし普通の授業では、「読むこと」や「書くこと」に多く時間が割かれてしまい、全員に同じ機会を与えて取り組ませる「話すこと・聞くこと」の領域が手薄になっている現状である。昨年度のCRTにおいては、話の中心部分を聞き取る力が低いという結果が出ている。また、生徒たちの日常生活においても、話を整理しながら聞き取ることが苦手であり、単語だけを並べて話そうとしたり語尾までしっかり伝えきらなかったりといった様子が見受けられる。人前で話すという点においても、授業では発言する生徒に限られており、多くの生徒が一言も発しないまま一時間が終わるということも少なくない。

そこで本コースでは、基礎・基本ということも考え、1学年の題材であるグループディスカッションを通して、一人一人が自分の意見を述べる場を設定した。選択授業の特性を生かし少人数でグループを編成し、一人一人が話し合いに参加しやすい状況を作りできるだけ多く話す機会を与えたい。一方、よりよいディスカッションのためには、話し手の意見やそう考えた理由等を正確に聞き取り、グループ内での意見の共通点や相違点に気づくことが重要である。そこで、準備段階で自分の意見を理由とともに書かせた上で、話し手の意見を予測したり予め質問を準備したりといった作業を取り入れ、観点を整理しながら聞くことや話し合いの流れに沿って発言する力を身につけさせたい。

### 3. 生徒について

授業に対して意欲的に取り組む生徒が多いものの、人前で自分の考えを述べることには抵抗感を抱いている生徒も少なくない。間違いを恐れがちなため、普通の授業では発言者が限られているといった現状である。日常生活でも、単語だけで話そうとしたり、マニュアルがないと自信をもって話せなかったりといった様子が見られる。

グループディスカッションの経験はどの生徒も少ない。それぞれの意見を尊重して話し合えるよう支援していきたい。また、グループを学年ごとに設定し、抵抗感なく取り組めるよう配慮したい。

### 4. 指導計画

時	学 習 内 容	指 導 目 標	備 考
1	聞くこと（観点を整理して）	・全体と部分、事実と意見との関係に注意しながら聞き取らせる	2年補充
2	聞くこと（聞き取りやすい話し方を考えて）		〃
3	グループディスカッション	・自分の考えや気持ちを理解してもらえるように話させる ・話し手の意図を考えながら内容を的確に聞き取らせる	1年補充 本時
4	グループディスカッション		〃
5	敬語表現	・適切な語句の選択をさせる ・話し手の意図を考えながら内容を的確に聞き取らせる	3年発展
6	インタビュー		2年補充
7	インタビュー		〃

5. 本時の計画

(1) 目標

進んで話し合い活動に参加しようとする。  
 意見と理由の関係や筋道、表現の仕方に注意して話したり聞き取ったりできる。  
 グループディスカッションの経過や意見の深まりについてまとめることができる。

(2) 本時の展開 = 既習事項 = 発展内容 = 補充

段階	指導内容	生徒の活動	教師の支援	備考
導入 5分	1. 前時までの確認 2. 課題の設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを確認する。</li> <li>目的と考慮すべき点を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いのポイントがずれないように意識させる。</li> </ul>	
展開 30分	3. 事前準備	グループディスカッションを通して 考えをまとめよう テーマ：けんかをした友だちに謝るには、電子メール、電話、手紙のどれがよいか。		
	4. ウォーミングアップ	<ul style="list-style-type: none"> <li>なぜ自分が他の手段を選ばなかったのか考え、また自分の考え以外の手段の理由を予測し、質問を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループディスカッションに生かすよう意識させる。</li> </ul>	
	5. グループディスカッション	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループでディスカッションする。</li> <li>必要最小限のメモを取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞いたものにとらわれすぎないことを意識させる。</li> <li>司会・発表者の役割を指示する。</li> <li>スムーズに進められないグループに援助する。</li> </ul>	
終末 15分	6. まとめ 7. 次時の予告	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループの話し合いの経過についてまとめたことを書く。</li> <li>発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループに指名する。</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>次時の予告を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次時の予告をする。</li> </ul>	

(3) 評価

進んで話し合い活動に参加しようとしていたか。  
 意見理由の関係や筋道、表現の仕方に注意して話したり聞き取ったりできたか。  
 グループディスカッションの経過や意見の深まりについてまとめることができたか。